

## 《薬局サーベイランスコメント》

『例年の同時期よりも非常に患者数が少ない状態が続いているが、患者発生動向については注意が必要』

薬局サーベイランス (<http://prescription.orca.med.or.jp/syndromic/kanjyasuikei/>) からの 2020 年第 49 週 (11 月 30 日～12 月 6 日) の、日本国内におけるインフルエンザの 1 週間当たりの推定患者数は約 1,470 と前週の値 (約 1,170) よりも増加がみられていますが、過去 10 年間の同時期の平均値の 50 分の 1 以下であり、依然として例年の同時期よりも非常に患者数が少ない状態が続いています。インフルエンザの患者数が大きく増加を始める兆候は認められておらず、しばらくはインフルエンザが流行していない状態が継続していくものと思われます (図 1a、図 1b)。

今シーズンはインフルエンザが流行するのか、流行するとしたら患者数の急増がいつから開始するのかは不明ですが、インフルエンザの流行に適した冬期は始まっています。インフルエンザの患者発生動向については注意が必要です。

2020 年 12 月 8 日  
済生会中津病院感染管理室  
安井 良則